

はらだ ゆうき  
原田 裕規さん (現代美術 / 山口県山口市 / 神奈川県小田原市在住)



Photo: Kaori Nishida

【経歴】(2026年4月現在)

- 1989年 山口市生まれ
- 2008年 広島市立基町高等学校普通科 創造表現コース 卒業
- 2013年 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科 卒業
- 2016年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程 先端芸術表現専攻 修了
- 2017年 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてニュージャージー(アメリカ)に滞在
- 2021年 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてハワイ(アメリカ)に滞在
- 2021年 金沢21世紀美術館(石川)で公立美術館での初個展開催
- 2023年 日本ハワイ移民資料館(山口)で個展開催
- 2023年 TERRADA ART AWARD 2023でファイナリストに選出・審査員賞を受賞

- 2024年 長野県立美術館で個展とキュレーション展を同時開催
- 2024年 広島市現代美術館で特別展「原田裕規:ホーム・ポート」開催
- 2025年 CAF・レジデンシー・プログラム2025で助成作家に選出

【受賞歴ほか】

- 2013年 「Book of the Year 2013」第7位(編著書『ラッセンとは何だったのか?』)
- 2013年 「平成24年度 武蔵野美術大学卒業・修了制作展」優秀賞
- 2019年 「ゲンピどこでも企画公募2019」木村絵理子賞
- 2023年 「ATAMI ART GRANT 2023」
- 2023年 「TERRADA ART AWARD 2023」ファイナリスト選出・神谷幸江賞
- 2025年 「CAF・レジデンシー・プログラム2025」

2024年11月から2025年2月にかけて広島市現代美術館で「原田裕規:ホーム・ポート」が開催された。同展のチラシによれば、「とるにたらない視覚文化」をモチーフに、テクノロジーやパフォーマンスを用いて、社会や個人の本性を『風景』や『自画像』のかたちで表現しているという。

たとえば《One Million Seeings》(2019年)は、不用品回収業者から引き取り手のない数万枚の写真を回収し、写真を24時間見続けるという同氏のパフォーマンスを撮影した映像。《Waiting for》(2021年)は、CG技術によって作られた100万年前と100万年後の「風景」に、地球上に現存する動物2万種のリストを同氏が33時間かけて朗読する声を加えたもの。どちらも膨大な情報と真摯かつ過激に向かい合う同氏の「白画像」を呈示している。

また、被爆した祖父をもち自ら広島育ちにも拘わらず、広島の悲劇を自分の問題として捉えきれないという自覚から、ハワイの日系アメリカ人の混成文化を題材にして、異文化理解をテーマに《シャドーイング》(2022年)を制作した。

同氏は自らの作品を“議論喚起型の作品”とも表現している。美的な領域で完結する造形作品のあり方を超えて、世界・文化・歴史が複雑にからみあう領域と身体を通じて関わりようとしている。近年、同氏の活動は注目を集め、全国の美術館での作品展示と収集の機会が増えている。今後益々の活躍を期待したい。

受賞の言葉

この度はエネルギー美術賞にご選出いただき、誠にありがとうございます。

私は山口市で生まれ、岩国市と広島市で育ち、現在は関東を拠点に国内外で活動しています。美術の道を志したのは、中学時代のこと。山口県立美術館で見た香月泰男の作品に衝撃を受け、何かの〈バトン〉を受け取ったように突き動かされたからです。その後、高校時代には広島市現代美術館に通うようになり、今では現代美術の作家として活動しています。

このように、私を育ててくれたのは中国地方の芸術文化でした。そんな自分の立脚点に何か恩返しができるかと、近年は山口・広島からハワイに旅立った人々の足跡を現地で調査し、作品へと発展。それを日本ハワイ移民資料館(周防大島町)や広島市現代美術館(広島市)などで発表してきました。

自らの立脚点である中国地方で作品発表することは、かつて受け取った〈バトン〉を誰かに引き継ぐような行為に感じられます。そのように、自分自身にとって意味のある中国地方の文化・スポーツ振興を目的とする本賞にご選出いただいたことを、誇りに思っています。

このような機会を与えてくださった関係者の皆さま、そして普段から応援してくださっている皆さまに心から感謝申し上げます。



広島市現代美術館での個展ポスター



Photo: Takuya Matsume  
日本ハワイ移民資料館での個展風景



Photo: Katsura Muramatsu  
長野県立美術館での個展風景



Photo: Katsura Muramatsu  
広島市現代美術館での個展風景

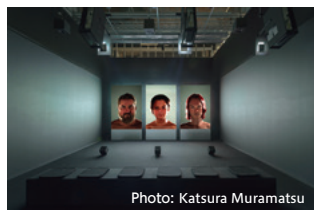


Photo: Katsura Muramatsu  
TERRADA ART AWARD 2023での展示風景



Photo: Makoto Okazaki  
シアター・コモンズ26での公演風景